

## 第15回学生生活調査結果に基づく全学支援・改善事項（全学的事項）

調査項目	全学支援・改善事項	R3.3現在対応状況
II 生活状況について	「学生の経済支援強化と学習へのモチベーションの向上について」	<p>高等教育の修学支援新制度の成績基準と、大学独自制度の成績基準を生活支援のHP上で公開し、成績優秀という条件から申請することに躊躇する学生を減らし、成績基準を明確にした。</p> <p>また、高等教育の修学支援新制度の成績上の継続要件をHP上で公表し、給付奨学金や授業料免除を受けるために、良い成績を取る、というモチベーションを持たせるようにした。</p>
IV 健康について	「生協等での安価でバランスの取れた朝食提供」	<p>学生の健康と、学生の朝食摂取率の向上のため、長崎大学ヘルシーキャンパスプロジェクトの一環として、11月16日～11月20日の間、100円朝食セットを販売し、好評を得た。</p>
V キャンパス全般について	「インターネット環境の整備」	<p>・情報企画課においてキャンパス情報ネットワークシステムの調達を行い、令和2年9月末までに無線LANアクセスポイント（約400台）を更新して無線通信の高速化を図った。</p> <p>更に、新型コロナウイルスの影響によるオンライン授業の増加だけでなく、感染拡大防止対策として講義室・実習室の複数利用による分散型講義や、デジタルを活用した教育高度化に対応するため、無線LANアクセスポイント増設を予定している。</p>
VII 学生相談体制について	「学生相談体制の認知度の向上」	<p>・初期相談窓口としての「学生何でも相談室」を周知するため、相談カードを学部新生へ配付した。また、令和2年度は、新型コロナウイルスによる入構制限などがあったため、長崎大学HPにて相談（担当）窓口をケース分けして示し、そのURLを学生へメール配信するなど、学生への認知度の向上を図った。</p>

## 第15回学生生活調査結果に基づく支援・改善事項

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	R3.3末日現在対応状況
【学部】				
多文化社会学部	大学生活全般について(施設)	Wi-Fi環境の改善	・多数の端末が同時に接続する場合でも、高速かつ安定し接続が可能となった講義用SSIDの運用が開始されているため、現在の利用方法の掲示に加え、より具体的な利用方法を掲示し、更なる周知を図る。	・講義用SSIDの案内及び設定方法を各講義室前に掲示して、周知を図った。
	大学生活全般について(授業)	カリキュラムの改善(海外短期語学研修プログラムの原則参加の廃止)	・令和3年度入学生より海外短期語学研修プログラムの原則参加を廃止し、中長期留学を含めた海外経験となるようなプログラムを原則参加するカリキュラム改善を行う。 ・令和2年度までにコロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、海外短期語学研修プログラムに参加できない学生については参加を免除	・令和3年度入学生より、海外短期語学研修プログラム、中長期留学、海外オンラインプログラムなど複数のプログラムから少なくとも一つの国際経験プログラムの参加を推奨するカリキュラム改善を図り、学生便覧へも掲載した。 ・令和2年度までにコロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、海外短期語学研修プログラムに参加できない学生については参加を免除するとともに、参加したことによる単位認定される予定の科目の検定試験での振替や履修科目を調整し、周知を図った。
	大学生活全般について(授業)	学外からの成績の閲覧方法	・定期試験終了後に学外からの成績閲覧方法を学生へ周知する	・学外からの成績閲覧方法について、掲示等で周知を図った。
教育学部(教育学研究科も同じ)	健康について	大麻撲滅に係る教育・研究の実施	学生の大麻所持等による逮捕が続き、大学全体の対応が求められている。学部として、全学的に行われる講演会等に学生や教員が参加するよう啓発する。	全学的に実施された薬物乱用防止講演会において、学生や教員に参加を啓発した。
	キャンパス全般について	インターネット環境の整備	教育学部に現在設置されている無線LANがカバーできる範囲が少なく、教育学部棟にある共同演習室や授業準備室で使用できないことがあるため、無線LANアクセスポイントの増設を行う。	共同演習室6カ所に、無線LANアクセスポイントの増設を行った。
	キャンパス全般について	施設・設備の改善	100共同演習室横「作業室と倉庫」のカビ防除を行う。地域開放型の授業の際、授乳やおむつ替えの部屋として活用し、保育中にも使用するため。	100共同演習室横の作業室と倉庫のカビ清掃を行い、倉庫に換気扇を設置した。
経済学部	キャンパス全般について	夜間のキャンパスに外灯をつける	夜間主の学生が通る通路などに、外灯を設置する。	図書館横に外灯を設置工事中。
	キャンパス全般について	猫の糞尿やエサやり問題があり、注意の掲示を行う	学生及び近隣住民に対して掲示	掲示済み。
	キャンパス全般について	不審者に対する注意喚起の掲示を行う	注意喚起の掲示をバージョンアップをさせる	掲示済み。
医学部 医学科	健康について	・飲酒における注意喚起を強化することによる、現在の割合からの段階的な改善 ・学生の悩みの早期把握と有効な支援への取次ぎの実施	・新入生オリエンテーションや部活動紹介での注意喚起 ・担任制面談の実施時期の調整と面談質問項目の見直し	・令和2年度の新入生オリエンテーションで注意喚起を行った。 ・令和3年度の新入生オリエンテーションで注意喚起を行う予定である。 ・担任制面談を実施した。なお、前期面談時に、新型コロナウイルスの影響を調査するため、面談質問項目を見直し、面談シートを作成した。
	キャンパス全般について	・情報環境に不満を持つ学生のニーズの把握 ・情報環境整備の要求伝達	・学生へのアンケート調査の実施 ・施設及び情報の担当部課への情報環境整備の打診	・学生ヒアリングを実施した。 ・情報環境に特段の不満はなかったが、さらなる充実を語り、セミナー室のFiWi追加設置を申請した
	修学について	・カリキュラム検討時及び評価時における学生からの要望や不満の把握	・学生を含めたカリキュラムに関する委員会の設置、開催	・3月にカリキュラム評価委員会を開催し、学生の意見・要望を把握した。
医学部 保健学科(医歯薬研究科保健学専攻も同じ)	健康について	新型コロナウイルス感染予防への対応	健康管理システムによる健康状態の把握、感染予防教育の徹底を図るとともに、臨地実習及び臨床実習の実施に関する情報提供を適宜実施する。	保健学科における健康管理システムへの入力状況は、3月18日時点で全学生数423名のうち、入力ありが386名(91.3%)、連続入力は380名(89.8%)であり、担任・アドバイザー・教員等より適宜、入力の連絡を行っている。また、臨地実習・臨床実習の実施に際しては、健康管理と感染対策を実習施設とも協議し、実施している。
	キャンパス全般について	医歯薬学総合教育研究棟における学生の生活環境の整備	今年度、後期からの医歯薬学総合教育研究棟での講義実施に際して、学生の学習環境の整備、ネット環境の確認を進めている。学生からの要望についても対応していく予定である。	医歯薬学総合教育研究棟での講義実施に際して、掲示板の設置、傘立ての設置等環境面の整備を図りつつある。ネット環境についても、本学情報企画課へ要望し、整備を図ったところである。
	学生相談体制について	健康上の諸問題に対する対処の充実と相談体制の周知	学年担任、アドバイザー・教員、何でも相談員、カウンセラーによる直接的な相談対応に加え、保健学科学生委員会を毎月開催し、専攻の委員を通して情報共有を図る。また、拡大学生支援協議会を年2回開催して学生の健康維持と諸問題の早期発見と迅速な対応を徹底させる。	学生のメンタルヘルスに関する対応は、コロナ禍で様々な事項が考えられるため、毎月の学生委員会にて各専攻の情報を共有し、その対応についても確認している。この年度末には、学生相談支援協議会を開催し、学科長、専攻主任、なんでも相談員の教員と情報共有するとともに次年度へ向けた対応を協議する予定である。

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	R3.3末日現在対応状況
歯学部	キャンパス全般について	学習室の整備	歯学部本館の改修工事の一環として、医歯薬学生の共同利用可能な学習室の整備を行う。	歯学部本館の改修工事の一環として、医歯薬学生の共同利用可能な学習室の整備を行った。
	キャンパス全般について	駐輪場の整備	歯学部本館の改修工事のため一定期間利用できなかった一部の駐輪場について、歯学部本館周辺整備の一環として駐輪場の再整備を行う。	歯学部本館の改修工事のため一定期間利用できなかった一部の駐輪場について、歯学部本館周辺整備の一環として駐輪場の再整備を行い利用が可能となった。
	修学について	修学支援の強化	CBT再試験予定者に対するきめ細やかな歯学部内学習ピアサポートの実施指導および必要な学習室の確保を行う。	CBT再試験者に対し歯学部内学習ピアサポートの実施指導を行うとともに学習室を確保した。
	学生相談体制について	新型コロナ禍における個別相談窓口の強化	新入生全員に対する個別Zoom面談を実施すると同時に、2-6年生に対するメンタルスクリーニング後の個別Zoom面談によるサポートを実施する。	新入生に対しては全員に個別Zoom面談を実施し、2-6年生に対してはメンタルスクリーニング後に個別Zoom面談によるサポートを実施した。
薬学部(博士前期課程生命薬科学専攻も同じ)	キャンパス全般について	学生用駐輪場の整理	駐輪マナーが悪い学生の注意喚起や放置自転車の廃棄	複数回にわたり、駐輪場以外にとめている自転車に警告シールを貼り、注意喚起を行った。また、全学が中心となって行う放置自転車の廃棄作業のため、放置自転車の整理業務を行った。
	学生相談体制について	学生支援・相談体制の周知	各種オリエンテーション実施時や掲示等で学生に周知する。	新入生、在学生オリエンテーションにおいて、学内及び学部内の学生支援・相談体制の周知を行った。また掲示等でも周知した。
	大学生活全般について	学生から意見・要望を聞き、改善できることについては実施し、その結果を学生に周知	学生から意見・要望を聞くため、学生との懇談会を開催する。	8月に開催した学生との懇談会において、学生からの意見・要望を受け、改善を行い、改善結果について、学生に掲示等で周知した。
工学部(工学研究科も同じ)	キャンパス全般について	構内の交通安全の徹底、駐輪場の整理	構内歩行者専用エリアでの乗車しての自転車乗り入れ禁止の徹底、駐輪場に放置されている自転車の整理や指定駐輪場以外に駐輪しないよう周知徹底する。	各コースの掲示板や駐輪場に掲示し、学生に周知した。
	キャンパス全般について	トイレの整備、清掃、学生の美化意識の向上	掲示やオリエンテーションで学生へ周知し、意識向上を図る。 トイレの整備は関係部署と調整のうえ、修繕や清掃業者への改善依頼等、必要に応じて対策を講じる。	掲示やオリエンテーションで学生へ周知した。また、学生の使用頻度が高いトイレを優先的に修繕を行った。
	学生相談体制について	学生相談体制の認知度の向上	掲示やコースオリエンテーション等で、学生相談室や相談体制について周知する。	各コースの掲示板やオリエンテーションにおいて相談体制について案内し、学生に周知した。
環境科学部	健康について	学生委員やカウンセラーによる面談の実施	年に4回、単位取得状況や出欠状況また心身の状況を踏まえて、学生委員とカウンセラーで会合を行い、必要な学生に面談を行う。	年に4回、単位取得状況や出欠状況また心身の状況を踏まえて、学生委員とカウンセラーで会合を行い、必要な学生に面談またはオンラインで面談を行った。
	キャンパス全般について(トイレの満足度)	使用時の注意喚起の掲示や必要に応じて清掃業者への連絡	使用時の注意喚起について掲示、または必要に応じて清掃業者へ連絡する。	必要に応じて清掃業者に連絡している。また、環境科学部講義棟のトイレ自体が古いため、トイレの改修を検討する(実施できるかは予算による)。
	学生相談体制について	各種相談窓口やハラスメント相談員の学生への周知強化	掲示や新年度開始時のオリエンテーションで学生委員長から周知を行う。	新年度開始時のオリエンテーションでハラスメント相談についての窓口の周知を行った。
水産学部(博士前期課程水産学専攻も同じ)	健康について	受動喫煙対策	キャンパス外の路上喫煙、近隣商業施設への滞留等について、掲示にてモラルとマナーの再考・啓発を行う。	教職員及び学生向けに、掲示やメールでスモークフリーキャンパスに係る再周知を行い、受動喫煙に係るモラルとマナーの再考等を促した。
	キャンパス全般について	施設・設備の汚れ及び老朽化への対応	用務員による清掃対応の強化、老朽化は各施設・設備の状況を確認し、適宜対応する。	用務員に依頼し、清掃の対応強化がなされた。併せて、放置自転車と屋内廃棄物の撤去、駐輪場他の樹木の剪定を行った。また、各施設・設備の点検を行い、利用する学生に対し利用上の留意点の指導・注意喚起を行った。
	キャンパス全般について	トイレ設備の不備対応	設備の故障の有無等を確認し、修理等の対応を依頼する。	学部内トイレの設備の一斉点検を行い、必要な機器の設定や修理を行った。

部局	調査項目	支援・改善事項	支援・改善策(方法)の例示	R3.3末日現在対応状況
【研究科】				
多文化社会学研究科	学生相談体制について	各種相談窓口（学生相談体制）のさらなる周知	・各種相談窓口（学生相談体制）について、オリエンテーション等で関係資料の配付や周知を行う。	・履修案内に各種相談窓口の項目を追加した。また、オリエンテーションにおいて周知を図るべく準備を進めている。
	経済支援について	奨学金情報の整理及び周知方法の改善	・大学院生対象の奨学金情報を整理し、オリエンテーション等で資料の配付や周知を図る。	・履修案内の奨学金相談窓口や周知に関する項目の記載を加筆した。また、オリエンテーションにおいて周知を図るべく準備を進めている。
	施設について	大学院関係施設・設備等の使用方法の周知	・院生研究室等の大学院関係施設・設備等について、オリエンテーション等で説明資料の配付や使用方法のレクチャーを行う。	・履修案内の大学院関係施設・設備等及びその使用方法に関する項目を追加した。また、オリエンテーションにおいて周知を図るべく準備を進めている。
経済学研究科	キャンパス全般について	・院生研究室の印刷環境の改善 ・パソコンの利用環境の改善	・財政上の問題があり、新たにパソコンを設置することは無理だが、故障が多かったプリンターについては新たなプリンターを設置。	令和3年1月に新しいプリンターを各院生研究室に設置済。
	キャンパス全般について	・キャンパス内の交通安全の徹底 ・キャンパスへの外灯設置。	・危険箇所を示した片淵キャンパス交通安全マップを見直すとともに、ガイダンスや交通安全講習時などにキャンパス内で注意すべき箇所（3つのキャンパス出入口）を説明する。 ・夜間に学生が通る通路等に外灯を設置	・マップを見直し、修正すべき箇所はなかったため、今年度の新入生オリエンテーションからマップの配付を行う。 ・外灯の設置は図書館よこに外灯を設置工事中。
水産・環境科学総合研究科（環境）	キャンパス全般について(トイレの満足度)	使用時の注意喚起の掲示や必要に応じて清掃業者への連絡	使用時の注意喚起について掲示、または必要に応じて清掃業者へ連絡する。	必要に応じて清掃業者に連絡している。また、環境科学部講義棟のトイレ自体が古いため、トイレの改修を検討する（実施できるかは予算による）。
	修学について(研究指導について)	現状把握と改善のフィードバック	修士論文提出時に満足度調査を実施し、その結果を前期課程委員会で公表・周知する。	修士論文提出時に満足度調査を実施し、その結果を前期課程委員会で公表・周知した。
	学生相談体制について	各種相談窓口の学生への周知強化	掲示や新年度開始時のオリエンテーションで学生委員長から周知を行う。	新年度開始時のオリエンテーションでハラスメント相談についての窓口の周知を行った。
水産・環境科学総合研究科（5年一環、博士後期）	大学生活全般について（施設）	駐輪場の整備（放置自転車、駐輪場の確保）	放置自転車を整理し、駐輪できるスペースを確保する。	放置自転車を撤去し、駐輪できるスペースを確保した。また、利用する学生に対し利用上の留意点の指導・注意喚起を行った。
	大学生活全般について	学内掲示における日本語/英語併記の推進	留学生にもわかるように掲示物に英訳をつける。	留学生にもわかるように、掲示物に英訳をつけ、掲示した。
医歯薬学総合研究科（博士課程）	トイレ満足度について	トイレ関連設備の改善を行う。	トイレの改善については要望が多く寄せられているが、学生が多く利用する医学部実習棟2階のトイレについては、年度末頃の全面改修を予定している。	令和3年7月-9月に工期が決定した。
	生活全般について	留学生向け学生相談の機会を促進する。	留学生向けに相談フォーム等を設け、面談を希望する学生には面談の日程を設けるよう、学務委員会等で審議し仕組みとして設ける。	令和2年12月の学務委員会にて留学生の面談に関する実施体制を審議、決定した。 令和3年3月に学生らへ学生相談に関する正面でのアンケートを実施。面談を希望する学生に対して、教員による面談を実施した。
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	キャンパス全般について	熱帯医学・グローバルヘルス研究科周辺の駐輪場の利便性を向上させるために、放置自転車の調査及び撤去を検討する。	文教キャンパスで実施される全学的な撤去時期に併せた実施を検討する。	放置自転車は回収済みであるので、文教キャンパスで実施される全学的な撤去時期に併せて廃棄する。
	大学生活全般について	英語クラスの担当教員を採用し、週2回の授業又はアポイントに対応できるような修学環境を構築する。	12月1日付で当該教員を雇用し、アポイントマネジメントシステムの整備を講じる	12月1日付で当該教員を雇用し、必要に応じてアポイントマネジメントシステムの整備を講じる
	大学生活全般について(授業)	入学前にオンライン上でオリエンテーションを展開するHPを立ち上げる。まずはサテライトからモデルケースを構築し、長崎スクーリング用にマイナチェンジを行う。	まずはモデルケースとしてGoogleCrassroomを使用したサテライト学生へのオンラインオリエンテーションを講じる	まずはモデルケースとしてGoogleCrassroomを使用したサテライト学生へのオンラインオリエンテーションを実施した。